



誠実であること

誠実であることの価値が、
忘れられがちであるようだ。

まず、

自分自身に対して誠実であることは、

本能に忠実に生きるということではない。

動物性に支配されることがなく、

自分を律していくことが大事だ。

そして、

自分を律してゆくには、

大きな志が要る。

大きな志は、

単なる自己実現を超えて、

「誰のために」「何のために」ということを、
必ず問われる。

あなたは誠実か。

他人をだましたり、

あざむいたり、

ワナにかけたりしていないか。

自分自身の努力や仕事を、

公平無私の態度で評価できるか。

他の人の才能や仕事を、

頭からバカにしてはいないか。

誠実であるとは、真面目であることでもある。

真面目でないリーダーに、

人々がついてゆくことができない。

真面目さは、

公私にわたって判定される。

私欲をブンブン匂わせている人に、

一体誰がついてゆくか。

本心に偉い人ほど謙虚なのだ。

それが分かるのは、一体いつの日だろうか……。

